

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院呼吸器内科に、睡眠時無呼吸症候群で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院呼吸器内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者を対象とした長期的臨床経過に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院呼吸器内科 部長 船田 泰弘

3. 研究の目的

閉塞性睡眠時無呼吸症候群と診断された患者に対して治療経過、合併症の有無を長期的に後ろ向き観察することで閉塞性睡眠時無呼吸患者の管理指針を示すこと。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の患者さんで、平成12年3月1日から平成15年12月31日までの期間中にCPAP治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者基本情報(年齢、性別、診断名、BMI、喫煙歴、既往歴、内服薬、ADL、合併症)、患者症状(いびきの有無、ESS:眠気スコア)、治療状況(CPAP継続の有無、代替治療の有無(マウスピースや手術加療など)、通院医療機関)、及びPSG検査に関する情報です。

(3) 方法

患者背景について、カテゴリ変数については頻度表を作成し、連続変数については要約統計量(例数、平均値、標準偏差、最小値、中央値、最大値)を算出する。閉塞性睡眠時無呼吸症候群と診断されてから現時点までのCPAP治療の継続率を算出し、CPAP治療継続に関わる因子をCox比例ハザードモデルを用いて多変量解析を行う。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院呼吸器内科 担当医師 船田 泰弘

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : funada@ajk.takatsuki-hp.or.jp